
オレの戦記はここから始まる・・・・のか？

斬滅のザン & 食べられる野草

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オレの戦記はここから始まる……のか？

【Nコード】

N7324P

【作者名】

斬滅のザン&食べられる野草

【あらすじ】

どうも〜ザンですー！。

皆さまの意見によっては連載しようかと思う小説ー

今回は真・恋姫無双を書いてみましたー

見た方は感想を必ず書いて下さいー！

（前書き）

オリ主の大雑把おおざっぱ設定

夏侯惇、夏侯淵の義理の弟と言う設定。

現在、呉の客将、さらに雪蓮さまに惚れられている。

その他に蓮華さんや思春さん、祭さま、冥琳さま

などの呉の将に好意を寄せられている。

強さは的にはチートでは無い。

しかしなんと・・・鈍感じゃないキャラを目指す

新感覚のオリ主！！

感想は必ずお書きになってください！！

どうも夏侯恩、字は子雲、真名を夜雲やくもています。

え？ アンタ誰？

いや、今自己紹介したじゃん・・・

・・・まあいいや、所謂『転生』ってのを経験しているオレは現在、

よく解らんが海に近い”城”で悠悠自適な生活中n・・・

「ほれ」

「あばっ——————！！！！！！」

オレの頬をかすめる寸前で飛来する矢を回避。

「何すんじゃああああ！！ 軽い感じで矢を射るなあああああ！！！」

今説明中でしょうが！

空気読めよお！！

「お主がそんな所で寝てるのが悪いんじゃ」

「それで攻撃！？ なんちゅう理不尽！！」

「避けたのだし気にするでない」

とワツハハハと豪快に笑うこの女性は、

名は黄蓋、字を公覆、真名を祭。

豪快な性格で料理が得意、オレ的にはいい女だと思う。

話を戻す、現在オレは・・・

「やゝくゝも」

「あばあああああああ！！！！」

はい！ 本日二度目っ！！

なんなのアンタ等、そんなにモノローグ嫌いか！！

オレを襲った剣は後ろの木に突き刺さりそこには、

桜色の髪的美女が居た。

「お前！ 言葉と行動が全く違う！！

どこに名前を愛らしく呼びながら切りつける奴がいる！！

お前はどこそぞの狂人かヤンデレ娘かあああ！！！！」

「娘だなんて、私は貴方の娘が産みたいわ」

「己の思考回路はそっちに直結するのか!」

このはっちゃけ過ぎの彼女は、

名は孫策、字を伯符、真名を雪蓮。

自由気ままな性格で酒を飲むのが趣味、またしてもイイ女に認定。

とか言ってる間に、酒をどっから取り出したか、

女二人は飲み始める。

「夜雲も飲みましょうよ」

こうやって事あるごとに、

オレの部屋で酒を飲む事が増えた二人を、

若干面白くない顔のオレに杯を渡す。

「はあ……オレあんまり飲めんって言ったぞ」

「イイじゃない、ちよつとくらい」

「お前等の”ちよつと”オレの”ちよつと”を比べるな。

それにそろそろオレは旅に戻りたいんだが？」

ここで話を戻そう、

俺は今諸国を巡る旅の途中なのだ、その”諸国”に、

この呉が”たまたま”あった、出会いはそれなりで気に入られたんだが・・・

如何せんそれが愛に変わったのだと言われた・・・

二度目の人生初の告白が、超大物・・・

現呉の王、孫策だったってだけ・・・

・・・十分ヤバイ・・・まあそんな訳で惚れられたんだ・・・

しかも呉の将が点在する各所で三カ月平均で過ごして結構な信頼を得ている。

今は雪蓮の我が儘？でこの城で客将に甘んじている感じだ。

早く旅終わらせないと、姉貴と姉ちゃんに殺される・・・

「ダ・メ」

「んじゃ冥琳にでもたのん・・・」

「イイじゃないここで父親になれば」

「・・・冥琳・・・？」

このいきなり現れ爆弾発言を言ったこのキレイな黒髪に赤ぶちメガネをかけた美女、

名は周瑜しゅうゆ、字を公瑾こうきん、真名を冥琳めいりん。

クールな性格に知的で凜とした顔立ち、百人中百人が認める美女、これまたイイ女代表。

「なに言っちゃってんの、冥琳さん・・・？」

オレの姉貴達にコロサレチャウヨ・・・」

「その時は私達が匿ってあげるわ」

「いやいやいや、そんな匿うと言う名の軟禁なんて嫌だよ。

それに姉貴ん所の霸王（予定）さんが黙っちゃいないって。

しかも袁術ちゃんどうすんの？」

そう現在、呉は前王である孫堅そんけん様の死により衰弱の一途を辿って居た、

そこに目を付けたのが袁術ちゃん（というか傍に控える軍師の張勳）が救いの手を出した。

まあ袁術ちゃんはどうただけ凄い猛獣を目の前にしているのか理解していない様だけど・・・

「それも後少しの辛抱よ、そろそろ乱世が起きるから、

袁術の腹を食い破る日も近いわ。

コレであなたの心配ごとは無くなったわね」

冥琳さんなんて恐ろしい人！！

・・・実際は雪蓮の手綱をオレに持たせる気だろう・・・

何が何でもお断りしたい・・・

「・・・好きな男の自由を許すのも、

良き妻の務めだとオレは思うがね」

苦し紛れ、言い訳苦しい事を言ってみる。

「夜雲、さつさと旅を終わらせてきなさい」

目がキラキラ、ルンルンの雪蓮がオレの荷物片手にそこに居た。

なんちゆうスピード・・・それほど妻の座が魅力的なのか？

「アホな事やて無いで今日の政務を終わらせるわよ」

冥琳は雪蓮の首根っこを引っ張り来た道を帰っていく。

「ちょっと冥琳、夜雲を旅に行かせないと私が妻になれないじゃない！！」

「夜雲のその場凌ぎの口八丁に乗らないの」

あゝ嘘だとばれてる訳ですか・・・

ずるずると引きずられ二人は何所かに行ってしまった。

祭さんは酒を持って既に居なくなっただいし・・・

てか冥琳が来る前に危機を察して逃げたのか・・・早えー

「そろそろ旅に戻らねえとなー」

オレは空を仰ぎ見ながら、最愛の家族が何をしているのか思考にふけた・・・

「姉貴は・・・剣振り回してそうだな・・・」

一人の姉は容易な元気な姿が思い浮かべられた・・・

(後書き)

前書きと同じく感想を是非お書き下さい!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7324p/>

オレの戦記はここから始まる・・・・・・のか？

2010年12月30日23時54分発行